

指標の見直し ①生物多様性の保全

<指標による管理>

本地域戦略の進捗状況は、市内域の生物多様性の保全の状況、生物多様性の主流化の浸透状況を図るため、次の2つの成果指標を管理することにより行います。

成果指標

①生物多様性の保全

生物多様性の保全を評価するため、手法を確立したうえで評価を実施します。

成果指標	現状 (令和 2 年度) (2020 年度)	目標値 (令和 12 年度) (2030 年度)
生物多様性の保全を評価するための 評価方法の確立及び評価実施	—	評価の実施

リーディングプロジェクト
ごとに定めた成果指標で
評価を実施する

生物多様性の状況を一概に表すことは難しいため、生物多様性の変化を継続的にモニタリングすることにより生物多様性の保全の評価につなげることにします。生物多様性の保全に向けた市の施策や、市民活動団体等の活動の効果を客観的に評価し、その後の施策に反映することで、2050年の静岡市の姿「生きものとの共生による、健康で豊かな暮らしを次世代に受け継いでいく社会」を目指します。

(抜粋: 第2次静岡市生物多様性地域戦略【2021-2030】P69より)

リーディングプロジェクトの成果指標

◆プロジェクトのねらい

① 南アルプス地域保全・再生プロジェクト

南アルプスの自然環境・生態系の保全を推進し、地域資源や生態系サービスの基盤としての自然環境のすばらしさを広め、次世代の担い手を育成する。

② 里地里山保全・活用プロジェクト

里地里山の自然環境の保全・再生を推進するとともに、保全・再生活動に取り組む市民や団体を支援し、保全活動の継続を図る。

③ 外来種対応の適正化推進プロジェクト

モニタリング等の調査に基づき、専門家の意見を踏まえた適正な管理方法や、市民協働による実施体制の構築を目指すとともに、特定外来生物をはじめとした外来種に対する市民意識の向上を図る。

④ まちなか自然ふれあい活動推進プロジェクト

自然環境に対する市民意識の向上を図りつつ、主催する活動団体の継続性や拡大も意識し、市民が取り組みやすい内容や参加方法の検討を進め、活動団体の交流を通じた情報共有や活動の拡大・連携の仕組みの構築を目指す。

⑤ 幼児期からの環境教育推進プロジェクト

幼児期における自然との触れ合いにより、自然を大切にする心を育み、成長しても自然に対する関心が継続するよう、幼児期からの環境教育の場、保全活動の機会を提供する。

⑥ 環境モニタリング等の市民参加推進プロジェクト

自然観察会や講習会で、生きものの特徴やモニタリング手法を学べる機会を作り、市民の関心を高め、市民によるモニタリング体制を整備します。また、市民の活動継続意欲を高めるために、活動報告に対する表彰制度の仕組み作りや、専門家と関わる機会を提供します。

【成果指標(案)】 R6年度～

◎：目標達成 ○：概ね順調 △：要対策 ×：未達成

南アルプスエコパークの認知度 54% (2024年度)

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画「静岡市域版」

中期実行計画(2019～2022年度) 【現状(2018年度)】 47% → 【目標(2022年度)】 54%

▶ 後期実行計画(2023～2024年度) 【現状(2023年度)】 48% → 【目標(2024年度)】 54%

市街地周辺の放任竹林管理面積 84.8ha
放任竹林の整備面積 63ha (2030年度)

令和3年度 市民活動団体の整備面積53ha
市による放任竹林の皆伐1ha/年

令和5年度 市民活動団体の管理面積62.0ha
※市街地周辺で民家等に隣接している竹林面積

新規特定外来生物の市内への侵入・定着の防止

(例) ヒアリ、アルゼンチンアリ、クビアカツヤカミキリ、タイワンリス、ヌートリア等

▶ R5年度まで侵入・定着なし

日ごろから自然や生きものと触れ合う機会がある人の割合

(例) 自然の中でのアクティビティ、自然遊び、生きもの観察、花壇づくり、河川・海岸清掃
※アンケート実施実績なし→設問内容、実施方法について要検討

▶ 市民アンケート調査(広報課と連携)にてR6.6月調査実施

こども園等における生物多様性の理解度 50% (2030年度)

令和元年度「環境教育・環境保全活動」に関するアンケート調査

問 あなたは、「生物多様性」を知っていますか？

内容について知っている 37.9% 聞いたことはあるが内容は知らない 45.0% 知らない 16.4%

▶ 市立こども園園長会にて
アンケート調査 R6.1月実施

市民参加の生きもの調査体制整備

- ・市民生きもの調査員養成講座の実施 ▶ R3年度～実施
- ・市民生きもの調査員登録制度の立ち上げ ▶ R4年度～実施
- ・市民参加の生きもの調査の実施(麻機遊水地) 指標種の決定 ▶ R4年度実施
- ・市民参加の生きもの調査の実施(市内全域) ▶ R5年度試行スタート

市民アンケート調査結果 ①

○実施期間:6月7日(金)~12日(水)の6日間

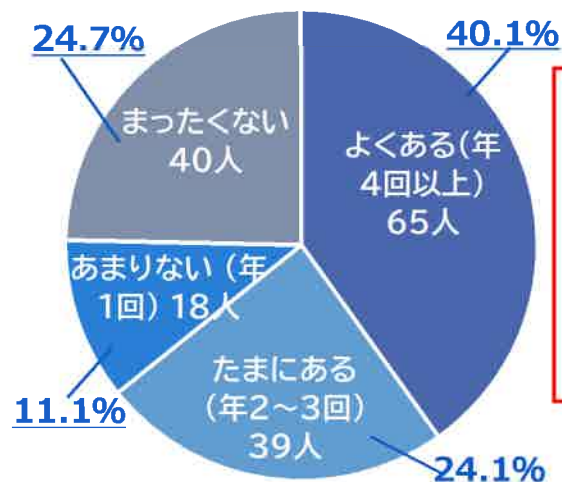
○実施方法:LoGoフォームを使ったインターネットアンケート

○周知方法:市LINE(意見募集・アンケートに☑がある方)、市X(旧Twitter)

○回答数:162件

1. 自然や生きものとふれあう機会について伺います。

問1 あなたが、この1年間で行ったことがあるものがあれば教えてください。また、その頻度はどの程度ですか。(○は1つ)

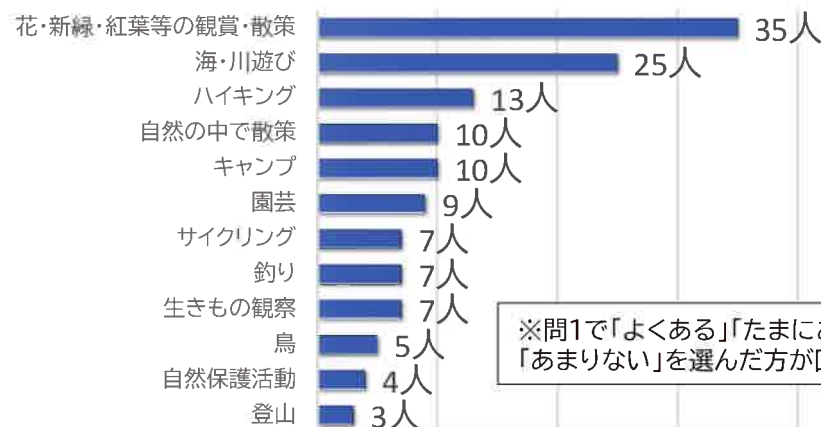


成果指標(案)

日ごろから自然や生きものと触れ合う機会がある人の割合

➤75.3%

問2 問1で回答したもののうち、あなたが最も印象に残っていることは何ですか。(自由記述) ※複数回答あり

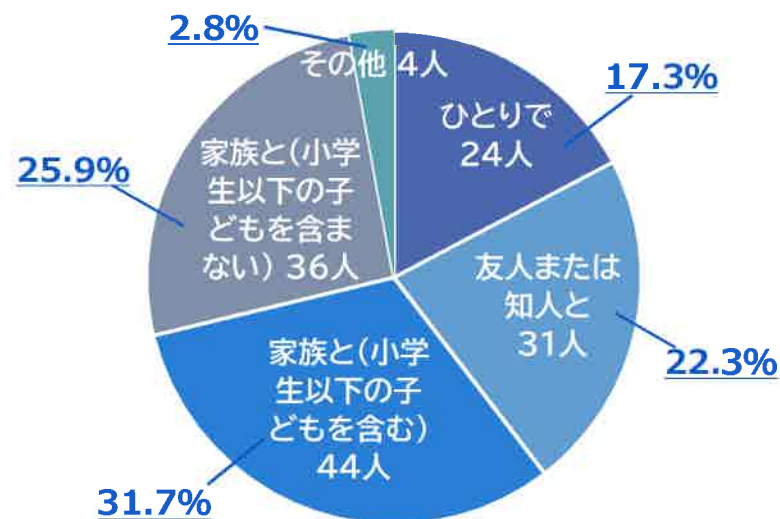


※問1で「よくある」「たまにある」「あまりない」を選んだ方が回答

問3 問2で回答した、最も印象に残っている理由をご記入ください。(自由記述) ※一部抜粋

- ・子どもたちと時間をたっぷり使って、ドキドキしたり発見があったりする時間を過ごせたから
- ・子供が夢中になってカニや小魚を探している姿が可愛かったから
- ・子供が虫に興味を持ち、初めて虫を飼育するという経験をしたため
- ・身近な公園などの花壇や植木は季節ごと楽しめる
- ・景色が素晴らしかった
- ・若い方から年配者の方まで、協力して、綺麗な花壇が出来上がった事
- ・景色が素晴らしかった
- ・自然に触れてリフレッシュできるから
- ・日常生活では感じられない自然の豊かさや雄大さを感じられるから

問4 問2で回答した、最も印象に残っていることは誰と行いましたか。(○はいくつでも) ※5択

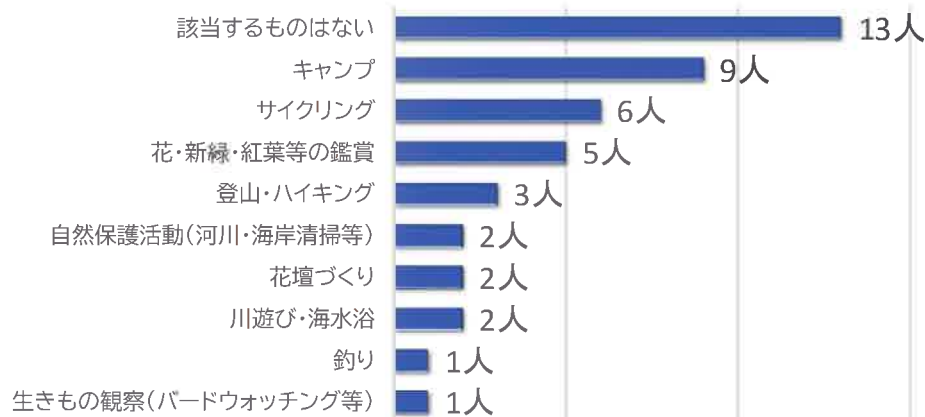


④まちなか自然ふれあい活動推進プロジェクト 成果指標 市民アンケート調査結果 ②

○実施期間:6月7日(金)~12日(水)の6日間
○実施方法:LoGoフォームを使ったインターネットアンケート
○周知知方法:市LINE(意見募集・アンケートに☑がある方)、市X(旧Twitter)
○回答数:162件

※問1で「まったくない」を選んだ方が回答

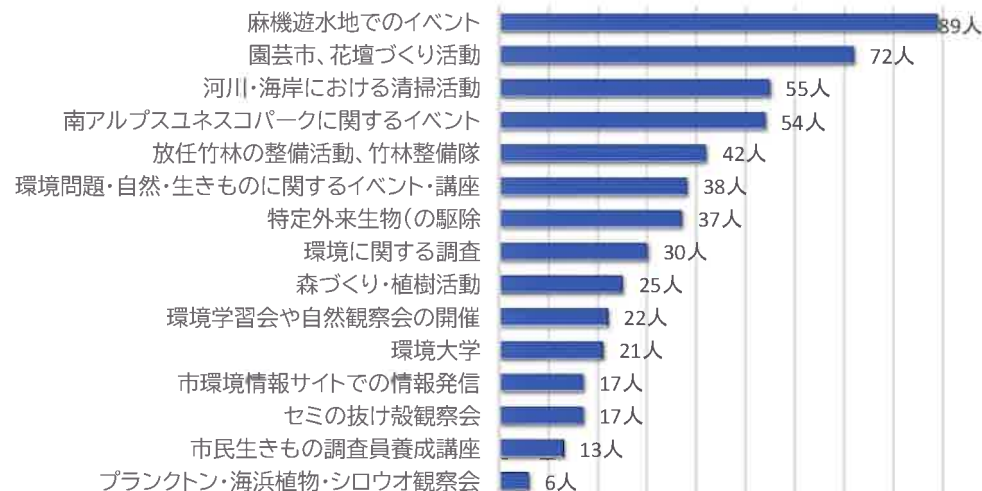
問5 次の中で、特にやってみたい・興味のあることについて教えてください。(○は1つ)



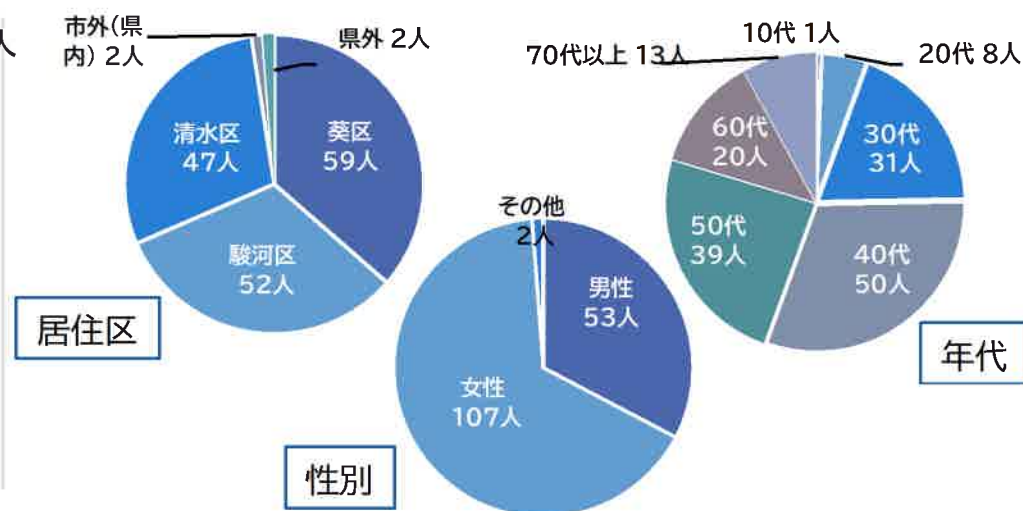
問5-2 問5で回答したことが実施できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)



問6 次のイベント・講座や活動のうち、あなたが知っているものは何ですか。(○はいくつでも)



属性調査

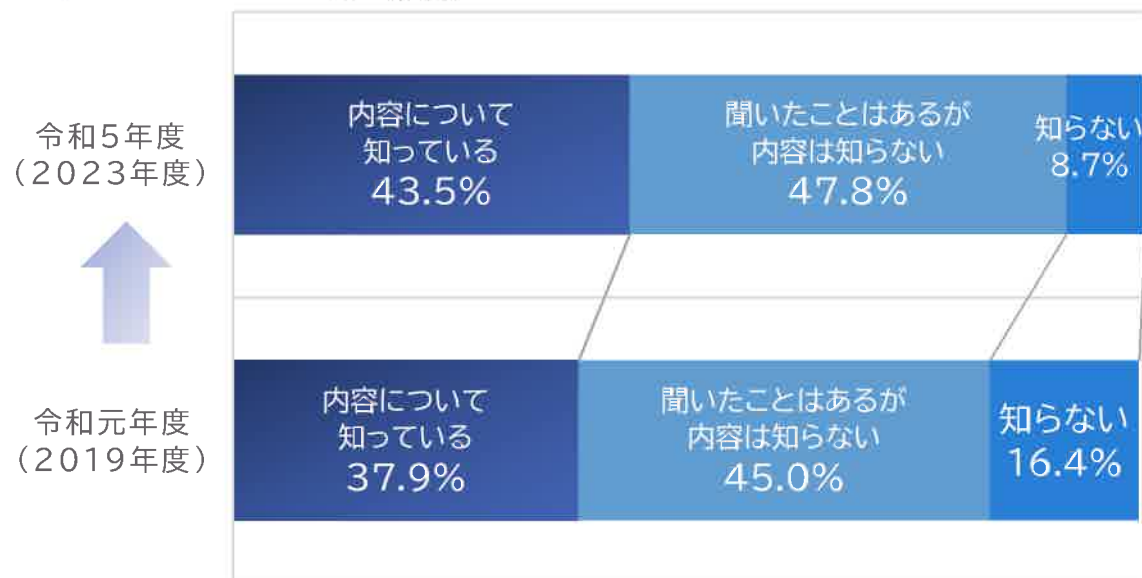


④幼児期からの環境教育推進プロジェクト 成果指標 園長会アンケート調査結果

○実施期間:令和6年1月18日(金)配付、1月31日(水)回答締切
○実施方法:アンケート用紙を市立こども園・園長会にて配付、
LoGoフォームまたは紙にて回答
○回 答 数:46園(59園中)が回答

幼児期からの自然体験アンケート

問1 あなたは、「生物多様性」を知っていますか。



成果指標(案)

こども園等における生物多様性の理解度
50%(2030年度)

➤2023年度 43.5%
2019年度より5.6ポイント上昇

問2 園では「生物多様性」に「つながる取組みを行っていますか。(複数回答可)」

